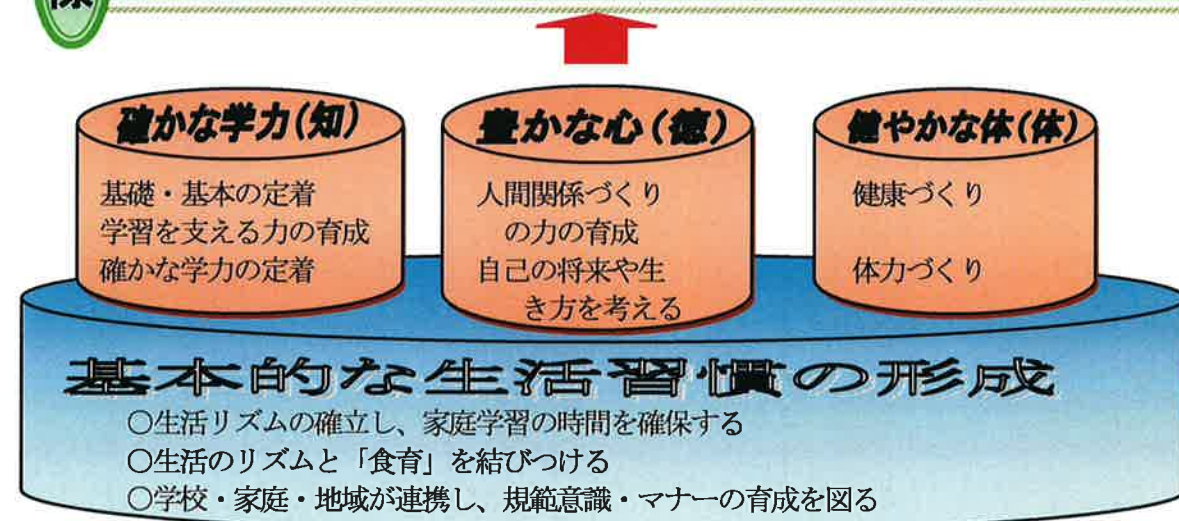


平成23年度村学力向上推進の取組状況及び 成果と課題

1 目標及び推進の基本的な考え方

目標

幼児児童生徒一人一人に「基本的な生活習慣」と「確かな学力」などの生きる力を育む



2 具体的な取組事項

- (1) 基礎的・基本的事項の定着を図るため
 - ・村の教育主要施策に位置付け、「繰り返し学習」で定着を図るため、小中の共通課題として、基礎基本の時間を週日程に位置付けさせ各学校で取組んだ。
- (2) 「わかる授業」「参加する授業」の充実
 - ・全教員公開授業を実施し、授業力・指導力の向上を目指した。
 - ・算数教科コーディネーターの有効活用を図った。(三小との連携)
 - ・村内小学校算数合同授業研究会の実施及び中学校から小学校への授業参観を実施した。
 - ・学習支援員と特別支援サポーターを配置し、担任と連携を図りながら、より細かな学習指導ができることにより、児童生徒の学ぶ意欲を高めることができた。

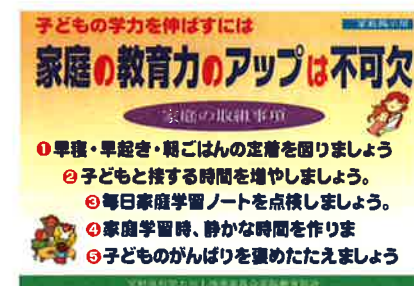


コーディネーターの声



三小合同授業

(3) 家庭地域教育への取組



家庭の協力を呼びかけるチラシ



親学認定アドバイザー与那覇律子先生による「親の役割」についての講演会

根一塾会での地域教育懇談会の開催

3 特色のある取

- (1) 宜野座村営学習塾「21世紀みらい」の活用
- (2) 各区公民館による学習支援
- (3) がらまん大賞の実施 H23年度造形部門大賞 (トトロの家) 松田小6年 (仲地星河)



【村営学習塾学習の様子】



4 成果と課題

【成果】

- (1) 各学校「基礎基本の時間」を設定し、繰り返し学習の充実により基礎学力の定着、学習態度の育成を図ることができた。
- (2) 教科コーディネーターの配置により、多くの検証授業・互見授業を実施し、「わかる授業」を展開することができた。特に、算数では意欲的に授業改善の取組ができた。
- (3) 上記①及び②の取組により、平成23年沖縄県到達度調査の結果において、小三・小五の国語AB及び算数ABともに国頭地区・県平均を上回った。

【課題】

- (1) 家庭学習については、授業と連動した取組や意図的な宿題の与え方等に課題がある。
- (2) 家庭との協力及び連携を図り、家庭の教育力を高める必要がある。
- (3) 生活実態調査から今後、学校と家庭・地域が協力し、家庭学習の時間を確保する等の見直しが必要である。
- (4) 学習指導・学習規律等について、小・中連携を図る必要がある。



H23年度
絵画部門大賞
(ウーキー) 宜中3年
(新里美八)